

室戸ジオパークだより Vol.93

今年もあっという間に年末を迎えました。今年はずいぶん「ウイズコロナ」「ポストコロナ」の社会が始まるという機運が高まってきました。こうした動きの中で「コロナ前の社会に戻る」ではなく「コロナ前の社会とどう変化をつけて、発展していくか」ということを考えていきたいです。

アジア太平洋地域ジオパークネットワークシンポジウム参加報告

広報紙10月号で報告していたように、室戸ジオパーク推進協議会と室戸高校生でタイ・サトゥンジオパークで開催されたAPGNシンポジウムに参加してきました。室戸高校代表団の生徒らは、これまでの防災探究活動について、本当に堂々と発表。各国から参加していたジオパーク関係者から、発表の感想を伝えられていました。これまでオンラインでしかやりとりできていなかったサトゥンジオパークエリアの高校生とも現地ですぐ会うことができ、「やっぱり実際に会って話をすることで受ける刺激は、オンラインでは敵わないな」と痛感。

専門員も室戸ジオパークのこれまでの事業を口頭発表するとともに、シンポジウム会期中に同時開催された防災セッションの日本代表として、室戸ジオパークが防災事業や防災教育の事例紹介をする機会がありました。



【ガイド】

佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキング

【開催日】

12月17日(土)、1月21日(土)、3月18日(土)

【開催地】佐喜浜八幡宮周辺山間部

佐喜浜で人気の登山プログラム・ミニ八十八ヶ所ハイキングの開催予定日が決まりました。佐喜浜の山道に設置されている八十八体の石仏を巡ります。ハイキング後は旬の食材を使った昼食を民宿徳増にていただきます。
※天候等の理由により、変更の可能性があります。申込方法・詳細については室戸ジオ公式 HP でご覧ください。



【写真展】

ファインダー越しに見る室戸ジオパーク

【開催日】11月1日(火)～12月10日(土)

【開催場所】室戸世界ジオパークセンター 2階

【内容】今年の6月から10月上旬まで募集していたフォトコンテストのテーマは「室戸の自然と人の暮らしのつながり」です。この写真展では、そこで応募していただいた写真作品を展示します。撮影者それぞれが描く「室戸ジオパーク」を見にきてください。また、室戸高校生3年生2人が撮り下ろした「僕らの見た室戸ジオパーク」も同時開催中です。



知ってる？ジオパーク

国連が定める国際デーって、みなさん意識したことありますか？毎月何かをテーマにした国際デーが設定されていますが、10月は特に室戸ジオパークのテーマにドンピシャな国際デーが2つあります。1つは今年から制定された「国際ジオ多様性の日(10月6日)」、もう1つは「国際防災の日(10月13日)」です。

「国際ジオ多様性の日」では、(1)四国エリアの多様な地質・地形と人々の生活を紹介する企画展(9月22日～10月30日)、(2)室戸市観光ガイドの会と連携した、室戸の火山岩と人の生活とのつながりを知るためのフィールド研修会、(3)山口県のMine秋吉台ジオパークにある秋吉小学校と佐喜浜小学校の5～6年生が、ジオ多様性をテーマにオンライン交流授業を実施しました。

「国際防災の日」には、過去1年間室戸ジオパークエリア内で起こした防災関係のプロジェクトや教育活動などに関する動画を作成し、公式YouTubeチャンネルにアップしました。本ページ上段で報告しているAPGNシンポジウムでの高校生の発表のようすも見ていただけます。12月以降はどんな国際デーがあるか、ぜひ調べてみてください。



フィールド研修のようす

■【お問い合わせ先】室戸世界ジオパークセンター内
室戸ジオパーク推進協議会事務局 ☎ 22-5161



YouTube



Facebook



Twitter



Instagram